

レースっていいよね

- 第10回 - 「OUTSIDE ドライバー列伝 吉村誠司の場合」の巻

仕事柄、いろんなレーサーと接する機会が多いわけですが、メジャーでない私の友人・知人レーサーについて紹介しようと思います。

初回はやっぱり思いで深い97年F4西日本シリーズチャンピオン「吉村 誠司」について。このホームページのギャラリーに彼の写真がありますが、見た通り「カッコイイ」!恐妻カイヤ夫人を持つ芸能人「川崎麻世」そっくりなあんちゃんです。出身は熊本県で、いわゆる「西日本」を中心にレース活動していて、オートポリスと美祢がホームコース。さすがにコースを熟知していてコンビを組んでいてもクルマを仕上げるのにあまり迷いが無く、比較的スムーズな仕事が出来ました。

今にして思う事は、もし金銭的に余裕があったらもっときちんと練習も出来たし、トラブル解決に向けて時間を割けたのになぁ・・・ということ。何せレースウィーク土曜日にチョコッと走っていきなり日曜の予選でドン。底辺レースではよくあることですが、特にこのシーズンには途中から現在F3で活躍中の「荒 聖司」の出現でそれまでぶちぎり展開だったのが接戦になりとにかく忍耐のシーズンでした。

反省点多々あるものの、とにかく終わり良ければ全て良しってな感じですかね。98年以降イロイロあったみたいで今のところレース活動は休止しているけど、きっと三十路を迎えるまでにまたこの世界に戻ってきてくれる事でしょう。(でも、それってあと a few years なんだよなぁ～・・・)とにかく気がいいというか、優しいというか、およそレーサーというよりはホストを連想させるんですよ。

「ルックスに任せてまた女を泣かせてますね」

なんて言うと怒るところかホントに困った顔をしたりして、リアクションが面白いんでついついからかっちゃうんですけど、いやホント、いいヒトっすよ!でもやっぱり絶対女は泣かしてるね、ウン。(サーキットでその現場を目撃したのだ!!)肝心のドライビングは…とっても慎重派。そしてどんな事があっても意外と冷静。例えばスピニアウトしてもきちんと状況を把握しながら廻ってるみたい。だからあんまりクルマを壊すことも無かったし。ただ、自信を持って走れるサーキットに限られるのがネック。西日本を基盤にしてるから仕方ないとは思いますが、慎重派だけに初めてで慣れないコースではとたんにボロが出る気がする。鈴鹿のような特殊なコースでは特に慣れがモノを言う。(もっとも、これはそう簡単な事ではない)美祢で速いんだから基本的なコントロールは問題無いはず。その為にはもっともっと練習しないとね。

今後はGTレースやF3レースに出場すると言っていたから、もし皆さんがサーキットで彼を見かける事があったら黄色い声援を送ってあげてください…。ホント、下手な芸能人よりカッコイイですよ。